

名作卅六
佳撰原遺

淨瑠璃全書

一冊

定價金拾錢

本邦文學の粹ハ淨瑠璃本ヨリ人情の微を探リ風俗の態を知らんと欲する者ハ淨瑠璃本を讀むに如かず略堂存て此名手筆の只ハ婦女子の翫弁物とあり三絃を操るの具たるを憚み名作三十六佳撰と題して義太夫丸本を發行せしハ幸ハ江湖の喝采を博し遂ハ三十六種の丸本を發行して三十六佳撰を完成するを得たり然るハ空句玉章尤も見るべき者にして撰ハ漏るゝ者多し依て更ハ淨瑠璃全書と題して續發せんとすハふ三十六佳撰と共ハ愛讀の榮々焉はらんことを謹言

第一輯 源平布引瀧

第二輯

近江源氏

第三輯 碁太平記白石噺

第四輯

楠賢女鑑